

日中友好新聞

京都府連版

第334号

日中友好協会京都府連合会

〒602-8026 京都市上京区新町通丸太町上ル 機関紙会館ビル302号
TEL&FAX 075-256-2764 nichukyoto.com info@nichukyoto.gr.jp

中国語教室開講記念講演会に参加して

四月からの中国語教室の開講を前にして、四月六日(土)の午後、立命館大学経済学部准教授長谷川賢先生の「『書面語』を学ぶ楽しさと重要性―中上級学習者を目指して」と題する講演会が行われました。聴衆は十五人と少なめでしたが、刺激的な内容のお話に参加者からは活発な質問も出て大変充実した講演会となりました。

先生はまず『書面語』という語の定義を一応、新聞雑誌、テレビニュースなどの正式な場面で使われる言語と定義したうえで、これらは中国の日常生活のあらゆる場面で使われる重要な言語であるにもかかわらず、日本の中国語の教科書ではあまり説明されないし教師も詳しくは説明していないのではないかと重要な問題提起をされました。そのうえで現代中国語の書面語の特徴を口語と対照しながらいくつか説明され、覚えておきたい書面語の重要語句も列挙されました。口語の中検三級程度を学習した人は次のステップとして書面語の語彙や文法を学ぶ必要がある。そうすれば中国語のインターネット記事やテレビニュースなどから情報を得ることができ、ビジネスメールや契約書も作成できるようになるはずだが、現状ではそれがまだまだ不足しているという趣旨のお話でした。

会場からは漢文教育を受けてきたわれわれは、書面語のほうが一目見てわかりやすいことがある、正式の場面だけでなく日常の会話やメールのやり取りにも書面語は出てくるため、戸惑うことがあるなどの感想が出されました。アンケートにも『目からウロコ』の話だった、「『書面語』なんて必要ないと思っていたがそうではないことが分かった」などの感想が寄せられておりました。入門段階の方には少し難しかったようですが、学習意欲を掻き立てられる内容だったと思います。(橋本草子)



第70回日中友好協会京都府連合会総会

★日時：6月23日(日) 14:00～16:00

★会場：機関紙会館5階

※くわしくは、6月号でお知らせします。



本部第三回常任理事会及び全国大会第一回準備会開催「第七十三回大会議案」(案)を提案・大会は六月八日、九日、東京(国際ファッションセンタービル)で開催

齋藤 敏康

三月三十日に本部・第三回常任理事会及び第七十三回全国大会第一回準備会がオンラインで開催され、常任理事会では「第七十三回大会議案」(案)が提案されました。

議案は二三年度に展開された活動をまとめ、二四年度の活動の重点を指摘しています。二三年は日本の対中感情が悪化した中で、日中友好運動の役割の特別な重要性を自覚しながら、政治、社会、文化に及ぶさまざまな活動を進めてきたことを振り返っています。二四年度もウクライナ戦争とイスラエルのガザ攻撃が激しさを増す中で、戦争をやめさせ、平和を構築する国内外の運動と連帯しながら、情勢の客観的な要請にこたえる旺盛な協会の活動が求められていることが指摘されています。

そのために最も重要なこととして、まずコロナ禍を挟むこの数年間で千人近い会員を減少させている現状を打開することが喫緊の課題であり、六月の大会までに千人の新しい仲間を迎え、一万人の会員の回復に向けた見通しを切り開くことの重要性が述べられています。

「第七十三回大会議案」(案)は現在、全国の支部・連合会の役員会レベルの議論に付されており、全国の議論を踏まえながら五月には正式に「第七十三回大会議案」が提案されます。

また第七十三回大会準備会では、六月八日14:00～17:00、九日の両日、東京両国の国際ファッションセンタービル十階(KFCHall&Rooms)を会場にハイブリッド方式で開催されることが発表されました。また五年ぶりに大会祝賀会(八日、18:00～20:00)を、会場に隣接する両国ホテルで行い、内外の来賓を招待して交流を深めることが決まりました。

また今年是对面とZoomのハイブリッドで行われますが、役員、代議員は対面参加が義務づけられ、評議員もできるだけ直接参加することが要請されています。それに伴って、今年は大分担当金が徴収されます(会員一人300円)。また代議員は会員百人につき一人です。京都府連は二人の代議員を出す必要があり、一人は全国理事の宇野木会長が代議員になりますので、その他は一人になります(齋藤理事長は大会役員)。

なお、第七十三回大会を終えた翌日には中国帰国者二世支援法の制定を求める国会請願活動が予定されており、多くの支部・連合会からの参加が要請されています。

全国大会の日程が上述のように決定したことを受けて、京都府連大会は六月二十三日(日)に開催することが、四月十三日の府連常任理事会で決定されました。



中国百科検定沙龙開催!

四月十三日(土)午後十二時半を少し回った時刻より、第一回中国百科検定沙龙を開催しました。百科検定はどんな試験なのか、どう学習したらいいのか、そして検定試験にチャレンジ!という構成で一時間ほどにぎやかに過ごしました。

SF小説『三体』の作者は誰?、西方のモンゴルなどの影響を受け、現在は北京名物ともいわれる鍋料理は何?、二〇一九年に起きた香港の大規模な「民主派」の運動で実現したものはどれ?

正答の確認だけではなく、問題にまつわる雑学も飛び出し、中国通に一步足を踏み出しました。幅広い出題範囲の試験ですので、今後は分野毎に学ぶということで、次回(五月十八日(土)十二時三〇分)のテーマは「文学」です。ぜひご参加を!

中国ものしり勉強会です。お気軽に!

中国百科検定

第15回 2024年7月13日(土)15:00~15:50
実施級...初級・3級・2級

第16回 2024年12月7日(土)15:00~15:50
実施級...初級・3級・2級・1級・特級

三上智恵 『戦雲（いくさぶむ）』集英社新書 1199 M 1320円

映画「戦雲（いくさぶむ）」を見た。最近の先島諸

島での自衛隊配備の動きとそれになやみつつ抵抗を続ける島民の姿が胸苦しくなるほどの迫力で迫ってくる。帰りに出口でこの本を購入して帰り、一気に読了した。二〇一七年二月から二〇二三年三月までの撮影日記の抜粋であるこの書を読むと二〇一六年に安保関連法が施行され集团的自衛権行使が可能になって以来現在までの間に先島諸島に自衛隊基地が着々と建設され、ミサイルが持ち込まれ、島民の避難訓練までなされるようになってきている現状にあらためて胸を突かれる。軍事施設を作りミサイルを設置することはそのままこれら諸島の住民が戦に巻き込まれることを意味する。そのことを訴えて、沖縄戦でむごい目に会ってきた九十三歳の島袋文子さん、山岸節子さんをはじめとする島民たちは、自衛隊の車両に対して一步も引かずに抵抗を続けるが、現状では軍事化の進行を止めることはできていない。負けても負けても抵抗をやめない理由を彼らは、戦争が起こってしまったから「なぜあの時にノーと言わなかったのか」と後悔したくないからだという。憲法があり、表現の自由がある現在、否という声をあげ続けるのが自分たちの使命だという。そして沖縄が戦争に巻き込まれるということは、すなわち日本全土が戦争に巻き込まれるということ、圧殺されているのは沖縄の声だけではない、いつか戦争に巻き込まれて助けを求めるあなたたちの声でもあるのだと本土の私たちに呼びかける。

銃をもって対峙する自衛隊員に対して「私は何も

持っていないよ、銃を下ろしなさい、私たちはあなた方を責めているのではないよ。こんな無法なことをさせる自衛隊の上のひとや国に抗議しているのだよ」と堂々と呼びかける女性たちのすがた、彼女らの言葉は自衛隊員たちの胸にもひびいていると信じてたい。

それぞれの章にはその時に撮影した動画を再生できるQRコードが付いている。小さくて少し読み取りにくいのが、撮影日記の文章を実感をもって受け止めることができる。是非一読をお勧めしたい一冊。なお、この本は府連事務所の本棚に常備して貸し出し出来るようにしておきます。(S・H)



鎮江・金山寺
大島画

わたしと中国 4 西田 千津 うしろさの面白

中国は人が多いのがちよつとね。声も大きいしうるさいねという声をよく耳にします。でも、私は、五人きょうだいでごちゃごちゃと育ったせい、騒がしいのはあんまり気にならず、中国の町の喧騒は結構好きです。逆にあまり静かだと寂しくなる人です。

以前厦門に行った時、船でコロンス島に渡りました。船は大勢の人が並んでいましたが、人々が乗り込むと、係員のお兄さんが、「今から自分が指示を出すぞ」みたいな顔で、「ウインウイン」とサイレンを鳴らし、「人数そろってるか確認するので、座ってください」と拡声器で呼びかけました。でも乗客は、デッキの眺めの良い場所をとりたいたいから、なかなか言う事をききません。すると、あまり遠くないところで、別の人が拡声器で注意をし始めました。大きくない船室の中で二人が同時に拡声器で話し、ウインウイン、それに人の話し声（これが大きい!）、「早く座れ」とかどなる乗客の声もまざり、声が重なりすぎて、結局、お兄さん何を言っているのかわからなくなり、すごい騒音の中、結局確認できたのかわからないまま、船は動き出し、人々はデッキに行ったり楽しそうに過ごしていました。日本だったら静かにさつさと従うだろうに(笑)。そして、「人山人海」の中を、苦も無く、秩序正しく下船していく中国の人たちの様子をみて感心しました。中国は面白くて飽きないですよ。 (不定期連載)

映画「再会長江」と竹内亮監督の舞台挨拶を観て、聞い

て

横地 豊

四月十八日に映画「再会長江」上映と竹内亮監督の舞台挨拶がアツプリンク京都で行われた。平日の木曜の十三時四十分からということだったが、定員七十二名の会場は満席。中国に興味を持つ老若男女の観客、日中両国の半々の観客。映画は監督が十年前果たせなかった長江の源流の一滴にたどり着くまでのGOOBYEの旅の記録。二一年から約二年間撮影し（コロナで一年延びた）、十年前に三田のドキュメンタリーの撮影で出会った沿岸に住む人々の何人かとも再会する。なかでも香格里拉で伝統的な生き方をしていた女性チームの前向きな生き方への変化は感銘をうける。民宿を経営するという夢を実現し、東京の舞台挨拶で来日した際にも、東京には興味は持たず、関東の温泉地の民宿に興味津々だったとのこと。監督曰く「この映画を観て、多くの日本人が中国に行ってみたいと思うことでしょう。私の映画が日本人に中国を理解してもらおうための第一歩となり、実際に中国を訪れるきっかけとなることを願っています。」と。竹内監督は一九七八年生れの四十五歳。私が五十年前日中の会員になった後に生まれた世代。三十三歳で南京に移住し、日本と中国にお互いの国の理解のために動画を配信し続けている。頭が下がる。ところで映画の中では三峽、瀘沽湖、香格里拉などの景勝地がでてくる。私が昂ツアー（上海の旅行会社と組んで九五年から十三回ほど、主に中国の辺境地域を旅した団体旅行）で訪れたところで、大

変懐かしかった。昂ツアーを企画した時は私も四十歳で中国への思いで意気揚々としていたなあとしみじみ思う。

最後に監督は今、「中国残留日本人孤児」の物語を撮っているとのこと。来年は日本の終戦から八十周年にあたるが、その人たちが現在八十歳代になっており、今のうちに彼らの物語を記録に残そうとしている。来年に向けてこのドキュメンタリーが中国と日本で放送されることを期待しているという。

ところで会場では亡くなられた竹内茂樹さん（京都中国残留孤児を支援し、交流する会副会長）をよく知る方と出会った。竹内茂樹さんとは第一回昂ツアーで三峽下りをご一緒した。なんとも不思議な「再会長江」の縁であった。



中国の山旅(17) 西谷 仁

蘭州に行って来ました。蘭州はシルクロードの街で荒涼とした大地に黄河にへばりつくようにある街です。蘭州ラーメンは有名で街中にラーメン屋があり、その場でラーメンを手作りでのぼして食べさせてくれます。



イスラム教徒とチベット仏教の人が多く住んでおり郊外はチベット高原の延長のステップが延々と伸びています。

高原にはヤクや羊が放牧されています。この町から3000m級の高原をバスで一日がかりで走り九塞溝や黄河石林や祁連山脈に行きます。大地の荒々しさと、そこに住む人のたくましさを、親切を感じさせる街です。私はこの街でパスポートをなくし途方にくれました。でも二日後に親切な中国人がひろって無事に届けてくれました。



《中国伝統劇つれづれ》第十二回 伝統劇の工芸品

藤野 真子

今春、新築の研究棟に移動した。着任して二十余年、書架からあふれる書籍と資料の断捨離に努めた。が、「本業」関連の雑貨類だけはどうしても処分できず、結局、新しい研究室まで持つてくる羽目になった。ありがたいのが臉譜モチーフ系で、筆者の手元にも、定年を迎えた同僚に貰った泥人がある。ゼミの中国人留学生からのお土産だそうで、中国出土の植物の化石までオマケにつけてくれた。葉や絵葉書、ピンバッジなら引き出しにしまっておけるが、額に入ったものは飾っておくしかない。研究室の扉に掛けようかと思ったがうまくいかない。研究室の扉に掛ける、あまり読まない地方劇の脚本集の前に飾つてある。



杭州の芝居レリーフ

杭州で買った、芝居の一シーンと思しき木彫のレリーフも持ってきた。いつの時代のものかは分からないが、欄間か建具から外してきたのだろう。立役と道化だけのシンプルな絵面は、近現代の大規模な舞台ではなく、元代以前の素朴な雑劇を思い起こさせる。

断捨離中、書架の隙間からA3サイズ大の茶封筒が出てきた。面倒なことは万事あと回し、未整理の紙類をファイルや封筒に入れて放置してしまうのが筆者の悪い癖である。どうせ中身は捨て切れない猫やら風景やらのカレンダーだろうと思っていれば、あにはからんや、清朝の役者絵の立派なレプリカが数枚出てきた。贈り主は、コロナ禍の二年前、北京の提携先大学から客員研究員としてやってきたG先生で間違いない。



役者絵のレプリカ

同じく中国伝統劇の研究者である彼が、数ある海外の名門提携大学の中から、なぜ中文もない本学を選んだのか尋ねたところ、曰く「いちばん自然が豊かそうだったから」。確かに、六甲山系の東端に位置するキャンパスは四季の彩も美しい。ある日の午後、「後ろからイノシシが歩いてくる！」と焦った文面のメッセージが入った。望みどおり、自然を堪能されたことであろう。

物に囲まれるのが好きだという点において、G先生は筆者に自身と類似する質を見たのだろう。日本滞在中も、骨董市で見つけた中国の香炉や、自身のコレクションとおぼしき周信芳の上演パンフレットなど、折に触れいろいろなプレゼントを下さった。彼の帰国後一年でコロナ禍が起こり、個人研究室はただの物置と化した。今回の移動がなければ、この役者絵は額装されて飾られることもなく、筆者の定年まで書類の山に埋もれたままだったかもしれない。

(ふじのなおこ・関西学院大学教授)

今後の予定

- ・5/11 (土) 第5回中国問題懇談会
- ・5/12 (日) 14:00~16:00
宇治支部 富樫豊さんの台南議会訪問報告会
- ・5/16 (木) 学習・交流会 @京都府連事務所
- ・5/17 (金) 宇治支部総会
- ・5/18 (土) 12:30~14:00
中国百科検定沙龍 (サロン)
- ・5/18 (土) 左京支部「ことばの学び舎」
武富幸治さん「黄檗山萬福寺の十八羅漢」
- ・5/26 (日) 左京支部総会
- ・6/8、6/9 全国大会
- ・6/23 (日) 京都府連大会

コロナ禍の台湾研究活動道中記 (第25回) ビザ切り替え手続き (その3)

高橋 孝治

前回までで、台湾のフェローシップの担当者から、新しく台湾に入境した外国人研究者に毎月の報酬を支払うから、銀行口座などについて教えてほしいというメールが来たという話をしました。しかし、銀行で口座を作りたいという話をすると、以下のように言われます。台湾で銀行口座を作りたい場合は、まず外国人登録証のコピーを提出せよ、外国人はそれを確認してから、銀行口座が開設できる。しかし、台湾で外国人登録証を作るには、居留のビザを受け取る必要があります。そして、居留のビザを取得するには、ビザ用の健康診断を台湾入境後に受け、その結果を添付書類として提出しなければならぬこととは既にお話ししました。そして、当時の筆者はその健康診断が予約待ちで、約一か月待たされることになったことも既に述べました。

そして、そのことも台湾フェローシップの担当者にメールで伝えました。しかし、返ってきた返事は「了解した。あなたは報酬を受け取る権利があるから、口座ができたから、まとめてそれまでの数か月分の報酬を支払うから安心してください」というものでした。

つまり、まとめると台湾政府から報酬がいただける研究員として台湾に行ったはずなのに、報酬は居留ビザができるまで(少なくとも一か月以上)支払

われないということになったのです。日本からある程度貯金を持ってきていたから、しばらくはいいよなもの……

このため、自宅隔離が終了した日は、久しぶりに外出できる嬉しさもあって、国立台湾博物館鉄道部パークや陽明山など見聞を広めることをやっていたが、早く居留ビザ、外国人登録証、銀行口座を作らないと報酬がもらえないという生活が決まったため、一か月自宅で、文献を読んだり、文章(論文など)を書く日々となりました。筆者は「研究」のために台湾に滞在していたので、これは当然の生活かもしれません。しかし、部屋の中だけの活動では、台湾にきた意味が全く分からない日々でした。(続く)



一応、居留ビザが出るまでの間、台湾の大学で特別講義などもしていました

(2022年台湾フェローシップ採択者・(元)台湾・淡江大学 日本政経研究所 訪問研究員 (2022年) / 「高橋孝治 中国」でウェブを検索！)

書呆子 (中国語で「本の虫」という意味)

「三体」劉 慈欣(りゅう・じきん、リウ・ツイシン)著、大森望・光吉さくら・ワン・チャイ訳、立原透耶監修、ハヤカワ文庫、2024年2月25日刊、630P、邦訳書リスト3P。

表表紙と帯…人類は滅びなければならない！ 文化大革命で父を惨殺された科学者葉 文潔。彼女が宇宙に送ったメッセージは……。シリーズ世界累計二九〇〇万部！エンタメ小説の最高峰、ついに文庫化！とあります。裏表紙と帯…彼女がスカウトされた軍事基地では、人類の運命を左右するプロジェクトが進行していた。…そして、汪淼(おう・びょう、ワン・ミヤオ、ナノマテリアル研究者)が入り込むVRゲーム「三体」の驚くべき真実とは？三体三部作Ⅱ・Ⅲと続刊予定。 訳者あとがき 大森望…小説のテーマは、異星文明とのファーストコンタクト。カール・セーガンの「コンタクト」とアーナー・C・クラークの「幼年期の終り」と小松左京の「果てしなき流れの果てに」を一緒にしたような超弩級の本格SFである。…二〇一五年のヒューゴ賞長編部門を受賞した。…ヒューゴ賞は世界最大のSF賞とも言われるが、…「三体」の受賞はアジア初の快挙。それどころか、英語以外で書かれた作品がヒューゴ賞長編部門を受賞すること自体、これが史上初めてだった。…「三体」ブームに更に拍車をかけたのが、バラク・オバマ米国大統領だった。大統領在職中の二〇一七年七月、ニューヨークタイムズに掲載された…インタビュー記事…で全米の注目を浴びる本になった。…二〇一九年七月、ついに本書単行本が発表されると、文字通り飛ぶよ

うに売れ…電子版を合わせると30万部を超える驚異的なベストセラーになっている。…日本SF大会参加者の投票で決まる星雲賞海外長編部門を受賞。…中国でも「三体」日本語版は高い評価を得た。二〇二二年には、中国の二大SF賞の一つ、華語幻想星雲賞の特別賞として新設された「星橋賞」を受賞。…(日経サイエンス)が「三体」の科学、なる特集を組んだり、普段はSFを扱わないような媒体もこぞって「三体」を取り上げた。 監修者解説・立原透耶…従来は中国で「子供向けの読み物」とされていたSFに新たな地位を確立させた立役者でもある。…劉慈欣は、中国国内では、SF界のみならず、文学・企業・国家と多岐にわたる分野で高い評価を受けており、同時に多大な影響を与える人物なのである。…。

もう圧倒される思いを抱きながら、一気に読了しました。噂が凄いいことはわかっていましたので、文庫本を待ち構えていたのです。六十一才の作家の今後が楽しみです。ご一読ください。(中本 学)



帰国者2世支援法の制定に向けて(京都府連・帰国者委員会より)

・京都選出国會議員に請願要請「賛同議員」を要請しています。呼びかけているのは、勝目康(自民)、穀田恵二(共産)、前原誠司(教育)、福山哲郎(立民)、竹内譲(公明)、田中英之(自民)です。引き続き継続していきます。

・帰国者2世支援法の制定に向けて「2世の声」を冊子にまとめる計画があります。府連からも、2世の方に協力を要請したところ、インタビューによる意見・要望のまとめをお寄せいただき、本部に送りました。

・6月10日に帰国者支援法の制定に向けた国会請願行動・院内集会があります。現在取り組んでいる署名は、この請願行動時に提出するため、第1次集約を5月30日とします。みなさまのお力をどうかよろしくお願いいたします。

・京都府連としては向島の帰国者2世の協力を得て、新たに約120筆の署名を本部に送りました。

台南市との都市間交流で発見した台湾社会の魅力 ～京都市会代表団として参加して～

日時: 5月12日(日)14:00～16:00

お話: 富樫豊さん(京都市議会議員、府連常任理事)

会場: 京都府連事務所 + オンライン


※参加費無料・事前申込要


創建400年を迎えた台湾の古都「台南」。友好都市として京都市議会の代表団の一人として現地へ。台南市政府や議会との交流、日台友好に取り組む団体、現地の人々との交流。実り多き訪問に。その中身をご報告します。

<報告の概要>

- 1 台南のまちが、創建400年の文化と歴史を、日本統治時代も含め大切にし、生活文化の中でも息づいていること。
- 2 議会・行政が、ヨーロッパの文化財保護政策に学び、修復・活用に取り組んできたこと。
- 3 京都の観光地の「混雑」の解消は観光客の願いでもある。
- 4 女性の活躍が大変すばらしく、ジェンダー平等が社会の活性化をさせていること。

※参加ご希望の方は5月9日(木)までに、以下を明記してお申し込みください。

申し込み先:  info@nichukyoto.gr.jp

 075-256-2764

- ・お名前
- ・メールアドレス
- ・参加形態(会場参加 or Zoom 参加)



